きょうこう

教育情報誌
vol. 52
2025年7月

巻頭インタビュー

●棋士

杉本 昌隆

正解がないから学び続ける

特集 「食育」の新しい試み　東京都渋谷区立原宿外苑中学校　大分県佐伯市立本匠中学校

心に残る子どもたち
千葉県立安房特別支援学校 校長
堀江 均
広島県安芸高田市立甲田小学校 教諭
佐々木 加奈子

教職員の健康を応援　最終回
「健康と食事」
～漢方の視点から～

My Second Life〈vol.22〉
定年後に修業、伝統工芸士に生涯現役への道
青木 基重

わたしたちの学校自慢
●専門高校シリーズ〈vol.17〉
岩手県立種市高等学校

表紙紹介
長崎県大村市立黒木小学校

公益財団法人 日本教育公務員弘済会

わたしらしく

巻頭インタビュー

●棋士

杉本 昌隆

正解がないから学び続ける

Profile

1968年11月生まれ。愛知県名古屋市出身。
2019年2月22日八段。
2020年6月竜王戦ランキング戦3組準優勝。決勝にて藤井七段（当時）と二度目の師弟対決が話題となる。
2022年公式戦通算600勝達成、「将棋栄誉賞」受賞。
過去の著書は20冊以上。著書に「師匠はつらいよ（文藝春秋）」「藤井聡太は、こう考える（PHP研究所）」などがある。
トーナメントプロであると同時に執筆活動、テレビ出演、講演等もこなす。
2021年より2025年まで公益社団法人日本将棋連盟理事を務める。

将棋との出会い

小学2年生の夏休みだったと思います。父がトランプや五目並べの卓上ゲームを教えてくれて、その中の1つに将棋がありました。駒の動きが何種類もあって面白く、中でも飛び越えるという立体的な動きをする「桂馬」に魅かれたことを憶えています。運動嫌いもあって、父とよく将棋を指すようになりました。

小学3年生で町の将棋大会に出場するようになったのですが、当時はまだ将棋大会に出る子どもは珍しい時代でしたから目立っていたのでしょうね。大会の審判員だった板谷進九段（後の師匠）がそんなに将棋が好きならと、子ども向けの将棋教室を紹介してくれたのです。それから毎週日曜日、お弁当を持って朝から午後3時頃まで、同世代の子どもたちと将棋を学びました。泣いたり笑ったり、楽しかったです。

高学年からは、板谷九段一門の将棋道場に通い始めました。週に3回、多いときは4回、学校から帰るとランドセルを置いて道場に向かい、夜9時頃まで将棋を指すという毎日。そして6年生で弟子入りし、棋士の養成機関「奨励会」に入るための試験を受けたのです。「奨励会」というのは、将棋の天才少女・少年の集まりと言われていて、合格した当時は僕が最年少でした。注目されていたと思いますが、そこから伸び悩みました。

中学3年生のときの担任の言葉

奨励会の対局は月に2回、週末に大阪で開催されていて、自宅のある名古屋からだと前日の夜には大阪入りしている必要がありました。子どもが一人で旅行鞄をもって電車に乗っていると、家出少年と勘違いされて補導されそうになったこともあります。棋士という職業が認知されていない時代でもあり、学校に理解を得られないことが続き、奨励会での対局も伸び悩んで精神的に辛い時期が中学2年まで続きました。

中学3年生の三者面談で、「棋士になりたい。だから対局日は学校を休むことを認めてほしい」と母親と一緒に先生に直談判した際、担任教師が「学校としては原則、休むことを認めるわけにはいきません。ただ、15歳で将来やりたいことが決まっているのは素晴らしいと思う。個人的には応援しますよ」と言ってくれたのです。

個人的にということではありましたが、先生に初めて理解してもらい、学校で唯一の味方ができたような気持ちになりました。それで吹っ切れたのだと思います。その後は順調に昇級することができました。八方塞がりだった僕を救ってくれた、先生の言葉です。

杉本一門の弟子たちと（2019年正月）

八冠達成の記者会見で記念撮影に応じる藤井聡太竜王・名人（左）と師匠の杉本昌隆八段（2023年10月）

師匠の教え

板谷師匠からは、義務教育が終わったら進学せず将棋一本に絞ることを勧められました。反面、「将棋だけの人間になるな」と言われました。同業者ばかりと付き合わず、違う業界の人と付き合え」「将棋以外の友人をつくれ」と。

師匠はお酒が好きで、会食付きの指導対局として、夜も賑やかに将棋を指していました。将棋ファンへのサービス精神だったと思います。「棋士がメシを食えるのは、勝つからではなくファンがいるからだ」といつも言われていました。ファンに感謝し精進しなければならないという強い意志が師匠にはあったのだと思います。

ここ一番の勝負に出る前「おう、頑張れよ」と声を掛けてくれる師匠でもありました。なかなか昇級できないスランプのときは、「いつか強くなるから心配するな」と。技術だけでなく、人の心の機微や礼節、生き方を教えていただきました。学歴と教養は違う。「いろんな人と付き合い教養を磨け」。今も肝に銘じている言葉です。

藤井聡太は出藍の誉れ

現在、弟子は10名ほどおりますが、棋士になるには年齢制限（原則、26歳までに四段にならなければプロになれない）があるため、弟子の対局が常に気にかかります。プロになるのは奨励会に入った中で2割。8割の人は棋士になることができない厳しい世界です。弟子入りするときに本人はもとより親御さんにも伝えますが、分かっていても弟子が棋士を諦めて去っていくときは寂しいです。

藤井聡太は小学4年生で杉本一門に入ってきましたが、当時から才能は群を抜いていました。彼に対しては一般的な将棋のアドバイスよりも、才能を素直に伸ばすことのできる環境づくりを意識したように思います。師匠の威厳というより兄貴分のような、何でも言い合える関係をつくることも大切にしました。そして彼は真直ぐに才能を伸ばし、史上最年少の14歳でプロ入り。僕は公式戦で三回彼に負けましたからね。出藍の誉れです。

藤井聡太の棋士としての役割はとても大きい。彼の活躍は将棋ファンを子どもや女性にも広げましたし、電車の中で将棋が話題になるような市民権を、将棋界に与えたと言っていいでしょう。

「将棋ソフト」も世に出回って、「AI評価値」は当たり前のようになりました。密室だった競技が今はネット配信によってリアルにどこでも観ることができ、パブリックビューイングはスポーツ観戦のようです。「勝負メシ」「おやつコンテスト」など、地域あげての盛り上がりも嬉しく思います。

正解がないから学び続ける

僕は現役の棋士であり、弟子をもつ師匠でもあります。技術はオンラインで教えることができますが、礼節を教えるのはやはりリアルでしかできません。「礼に始まり礼に終わる」将棋は、日本の文化でもあります。それは、教育現場と重なることがあるように思っています。リアルでしか教えられないこと、掛けられない言葉が皆さんにもきっとありますよね。

僕は中学3年のときの学校の先生の言葉がなかったら、棋士の道を諦めていたかもしれません。恩人ともいえるこの先生には、プロになったときにお礼状を書きました。「おめでとう」と返事がきたときは本当に嬉しかったです。

師匠と弟子の関係に正解がないように、教師と生徒の関係にも正解はないのかもしれません。正解がないからこそ、人は学び続けるのだと思います。「諦めなければ負けではない」。そう信じ、お互いに頑張っていきましょう。

読者の中から抽選で3名様に、杉本棋士の著書をプレゼントします。

『師匠はつらいよ　藤井聡太のいる日常』
文藝春秋刊（2023/6/12発売）
藤井聡太とのエピソード満載のエッセイ集

応募は、はがきに**①住所②氏名③電話番号④ご所属の学校名（組織名）⑤本誌の感想**をご記入のうえ、以下の宛先までご郵送ください。

■**応募宛先**：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6
（公財）日本教育公務員弘済会
「きょうこう vol.52 プレゼント」事務局
■**締　　切**：2025年10月31日（金）必着
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます

特集

「食育」の新しい試み

この原稿を書いているのは、政府備蓄米が店頭に並び始めて一週間ほどが過ぎた6月初旬である。昨年の「令和の米騒動」に続き、今年も野菜価格の高騰や食品の値上げが続いた。食べることへの意識がこれまでになく高まっている自覚を、わたし自身が持っている。本誌が発行となる7月末には、事態は収束しているだろうか。

今から20年前、2005年6月に成立した食育基本法の前文には、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である」と明記され、食育とは「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置付けられている。

この食育基本法は33の条文から成り、7つの基本理念に基づいて構成されている。

- 国民の心身の健康な増進と豊かな人間形成
- 食に関する感謝の念と理解
- 食育推進運動の展開
- 子どもの食育における保護者、教育関係者等の役割
- 食に関する体験活動と食育推進活動の実践
- 伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
- 食品の安全性の確保等における食育の役割

振り返ってみると、食育基本法とは「食育」を国民運動として推進し、誰もが健康で幸福な人生を送ることができるようつくられた法律であることが分かる。

成立から20年経った今、学校給食においても、家庭においても、子ども食堂においても、米をはじめとする食品への危惧や食べることへの不安が高まっている。10年前には予測すらできなかった事態が起こり続けている状況は、まさにVUCA(ブーカ)の時代(V＝Volatility:変動性 U＝Uncertainty:不確実性 C＝Complexity:複雑性 A＝Ambiguity:曖昧性)に入っていることを実感する。

そのような時代背景の中、全国の教育現場での「食育」の取り組みは、どのような変化をしているのだろうか。あるいは進化をしているのだろうか。

今回取材させていただいた2校は、共に公立中学校。都会の中心地・東京都渋谷区原宿外苑中学校と、中山間地の小規模特認校・大分県佐伯市立本匠(ほんじょう)中学校である。一見すると両極端ともいえる2つの中学校は、環境も規模も異なるものの、数々の共通点がある。

「食育」を通した新しい学びづくりの事例を、全国の先生方にご紹介したい。

やっちゃえ原宿外苑
Don’t think. Just do ! HarajukuGaien
東京都渋谷区立原宿外苑中学校の取り組み

都心の真ん中、JR原宿駅の竹下口から徒歩4分のところに原宿外苑中学校はある。高層ビルや多くの飲食店が立ち並び若者で溢れるこの街は、常に新しい文化や流行を生み出してきた。その一方で明治神宮も近く、歴史と伝統、最先端の情報が行き交う、まさに東京のど真ん中エリアだ。

原宿外苑中学校のスローガンは、「やっちゃえ原宿外苑Don’t think. Just do! HarajukuGaien」。学校経営方針に掲げ、教員・生徒・保護者・地域に浸透するよう「校長室だより」をはじめ様々な発信を行い、一歩踏み出す勇気を認め合い、協働で問題解決を試みる校風が醸成されてきた。

月に1回、授業を午前のみにして、午後を教員研修の時間「Teachers Learning DAY」を設け、授業デザイン研修や授業プラン作成研修などを実施。体験型研修を多く設定し、ブレークタイムをつくるなど、教員間での対話が進むよう工夫されている。そしてまた「Teachers Learning DAY」の時間中は、中学校の居場所づくりとして「原外カフェ」が校内に設けられる。フリードリンクやお菓子を食べながら、地域の民生委員や福祉関係者、保護者、高校生や大学生が集い対話する場所だ。都心のカフェのような雰囲気で、誰もが参加できる。ストリートピアノも置かれ、噂を聞いて遠方からピアノを弾きにやってくる子どももいる。校舎の玄関脇には飲料の自動販売機。進化と深化。学びと開放。原宿外苑中学校は学びのイノベーションを加速する。

居場所づくりとしての原外カフェ

フリードリンクの種類も豊富

休み時間や放課後に誰もが利用できるストリートピアノ

教員は「触媒」であれ

「ファシリテーターでも伴走者でもなく、Catalyst（触媒）であれ」。前校長の駒崎彰一さん（現渋谷区立代々木中学校校長）は、そう語る。「授業をデザインしていくと、子どもたちの目が変わる瞬間があります。授業が、その子どもの興味関心と化学反応を起こす瞬間です。このときの子どもの集中力はものすごい。そんな授業ができると教員はやめられなくなりますよ（笑）。子どもが夢中になる姿ほど嬉しいことはないのですから。大切なのは、仕組みを変えることではなく、学びを変えること。目的をしっかり持って、いかに学びを創るか。教員はCatalyst（触媒）という自覚をもって、化学反応を起こす仕掛けをつくる役割があると考えています」。

目的をもって授業をつくることを教員が学び合い、多彩でユニークな授業が次々と生まれていった。体育館に2畳ほどの茶室をつくって真っ暗にし、お香を焚いて鈴を鳴らし、畳に座って掛け軸を眺めるという「無になる授業」、明治神宮の神官を招いての「書の授業」は、明治神宮に奉納するまでが授業になった。

小児科医による「がん教育」授業、プロによる「着付け」授業では、着物のたたみ方を学び、老舗化粧品会社とのコラボにより「浴衣姿の映えるフルメイク」授業を展開。

何に夢中になるか分からない子どもたちを前に、授業デザインは進化を続けている。そのなかで「将来なりたい職業」「挑戦したいこと」「好きなこと」「夢中になれること」を、子どもたちが見つけている。

同校はまた、文部科学省の「授業時数特例校」の制度活用により、概ね月に一度の土曜授業において授業実践を公開する環境を整えた。こうして、学びづくりが更に充実していくのだ。

校内で都市型農業を

きっかけは、「都会の子どもたちに農作業を体験させたい」という校長の想いだった。欧州では校内に農地を持ち、「土に還る学び」が当たり前のように展開されていることを見ていたからだ。PTAボランティアグループが学校花壇に花を植える「緑化活動」を継続しており、そのグループが40人ほどに増えてきたことも背景にある。「人」や「企業」というリソースに恵まれた、地域の実態に合わせた学びができると判断した。

試しに、2年生の技術・家庭科で大根づくりに取り組んだ。原宿という場所柄、畑がないのでビニール袋で栽培したところ、予想以上に大きな大根が100本ほど収穫できて大成功。各自で家に持って帰って食べてもらったものの、ビニール袋の栽培ではサステナブルではないし、土に還る学びにはならない。地域のアパレル企業に相談したら、すぐに大手飲料メーカーのコーヒー豆保存用の麻袋が提供される運びとなった。その麻袋は、廃棄されるはずだったコーヒー豆の輸入用のものでサステナブル。そして天然繊維だから土に還る。ならば、麻袋を土に戻すところまでを生徒たちの学びに繋げよう。それが校内にコンポストを作る「土づくりプロジェクト」スタートの経緯と背景だった。

校内の倉庫には耕運機がある

ゴミになってしまうはずだったコーヒー豆輸入用の麻袋。地域の方との繋がりから手配していただいたもの。刻んでコンポストへ

土づくりプロジェクトスタート

土づくりプロジェクトは、有志の生徒と保護者、民生委員の人たち15人ほどで結成されたが、LINEグループで繋がる程度の「ゆるいグループ」に設定。「いつやる？」くらいの軽いノリで、ルールも特にない。この「ゆるさ」と「自由さ」が、プロジェクト継続には大切だと副校長の奥井伸さんは言う。「楽しさと面白さがなくっちゃ」と。

LINEでゆるく繋がったグループには「係」もなく、誰を誘ってもOKだ。作業日が決まると学校のホー

コンポストを囲んで対話が弾む

給食残渣を刻んでコンポストに

ムページで日時を発信し、来たい人がやってくる。コンポストをまん中に対話が弾み、楽しい交流の場になっているのである。

給食残渣も、シュレッダーにかけられた紙ゴミも、コンポストに投入される。プロジェクトを立ち上げたばかりの頃は、発酵熱で湯気がたって騒ぎになったり、臭いが近隣に漂ったりと試行錯誤を繰り返したが、地域の専門家が知恵を貸してくれたり、臭いを消すコーヒー殻が地域企業から提供されたりと、その都度、協働で解決を図ってきた。

干し芋プロジェクトの誕生

大根は育つと安心した2年目、夏の暑さで全滅するという事件が起きた。さあどうしようと立ち止まったとき、「さつまいもは失敗しない」という耳寄りな情報がもたらされた。干し芋メーカーの「壮関（そうかん）」という企業からだった。学校のある原宿表参道で毎年開催される「スーパーよさこい」のスポンサー企業である。

大根が全滅した当時の3年生が、大根のリベンジとして、さつまいも「紅はるか」を育て始めた。「干し芋にし、原宿産として販売しよう」。目的を定めた取り組みが始まった。秋には100kgが収穫でき、規格内は30kg。この30kgについての商品開発がスタートし、企業からマーケティングと製造方法を学び、美術科の授業でパッケージデザインを製作。そして、教員と生徒、「壮関マーケティング部社員」の投票によってデザインが選ばれ、商品化へ。学校名を冠した「原宿外苑干し芋」の誕生である。

商品化された「原宿外苑干し芋」
「小杉湯原宿」での商品レイアウト

今年3月17日に、原宿の大型商業施設や表参道商店街、都心の銭湯として知られる「小杉湯原宿」で、限定約100パックとして販売したところ、即完売となった。売り上げの一部は次年度のさつまいもの苗購入費に充てられ、今年度も準備がスタートしている。

原宿外苑中学校で育った農作物が生徒たちの手で商品化され、原宿で販売される。都心の地産地消が、中学校を拠点に展開し始めた。保水力アップのためにと、布団メーカーから綿が提供されることになり、豊かな土づくりも一層進められている。

今年5月には、学校から徒歩9分ほどの国有地内に畑をつくり、規模を拡大した。

よりよく芋が育つために行う「綿入れ」の作業

学校を開放する取り組みを

有志生徒が校庭の花壇で育てた枝豆から大豆を収穫し、味噌づくりまで行う「マメ（味噌づくり）プロジェクト」も3年前からスタートしている。

4月に大豆の種を蒔くと6月には枝豆に。夏まで成長を待つと豆がカラカラになって大豆になる。それを収穫して、9月に生徒たちの有志とボランティアの方とで味噌づくりに挑戦した。味噌が完成した後は、給食の味噌汁となる。

このプロジェクトも生徒だけでなく地域にも開放したため、地域の方も毎回参加。学校を起点に地域との繋がりが広がっている。学校で作った土を持ち帰って、地域や家庭で野菜を育てる家庭も現れた。

学校を開放し、地域社会の中で持続可能な取り組みとして展開していくことの重要性を駒崎前校長は説く。「様々な企業、多様なスペシャリストがいるこの地域は、目的がぶれなければ様々なことが展開できます。人から人へと情報が繋がって広がり、新しい企画がシームレスに実現できるのは強みですが、学びの方向性への共通理解が持続可能な展開の鍵です」。

連携する「食育」

生徒たちが育てた「紅はるか」の規格外サイズは給食の食材となった。原宿外苑中学校で育てたものを原宿外苑中学校で食べるという、究極の地産地消が実現したのである。

そしてまた、原宿外苑中学校の「食育」の取り組みは、生徒の「体験」や「給食」、「図書」等が、網の目のように繋がっていることも特徴の1つだ。

原宿外苑中学校の給食図書コーナー

例えば、修学旅行先が初めて高知県となった昨年（修学旅行先も旅行会社のプレゼンに生徒が参加して決定）、給食には高知の特産が並び、校内図書コーナーには高知を紹介する書籍が並ぶという具合である。季節に応じた伝統食も、給食と図書が常に連携し、日本の伝統文化を食で知る取り組みも継続中だ。

渋谷区内には大使館が多く、有名飲食店も数多くある。大使館や地域飲食店とのコラボレーションによる給食企画も定期的に開催され、ハワイからホームステイでの学生を迎え入れた家庭があれば、給食にハワイ料理を出し、当然のようにハワイについての書籍が並ぶ。

生徒の家庭でも、学校から持ち帰った野菜を親子で調理し会話が弾んでいる。

駒崎前校長は、次のように語った。「食育は、実生活や社会の実体と繋がる、オーセンティックな学習だと思います。今、探究学習が各学校で展開されていますが、探究学習のための探究になっていないか、学びの本質を見直すべきときなのではないでしょうか。学校教育は社会の実体と結びつき、何か問題が起きたときには協働で解決する力を子どもたちに培わせなければなりません。子どもたちは、本物と出会い、その本質に触れることで自ら成長していきます。食育とはまさに、本物に触れる学びだと考えています」。

私立中学校に進むケースの多い渋谷区で、公立の原宿外苑中学校は全国学力・学習状況調査で私立中学校を凌ぎ、入学を希望する生徒が年々増加している。

土づくり作業の後、生徒が校長室に。
副校長の奥井伸さん（左）と前校長の駒崎彰一さん（右）

地域と学校がつながる『茶育プロジェクト』

大分県佐伯市立本匠（ほんじょう）中学校の取り組み

学校茶園での茶摘み後、地域の皆さんと共に

茶育とは

「茶育」とは、学校教育の場で、茶を活用した食育のことを指し、農林水産省が推進しているプロジェクトである。

茶は日本人の生活と文化になくてはならないものであり、中山間地域における基幹産業として地域経済を支えてきたが、消費量は顕著に減少している。特に若い世代には急須で茶をのむという文化が薄れてきており、子どもの頃から茶に親しむ習慣を育み、茶の文化の普及に繋げることが狙いだ。

この全国プロジェクトで紹介された取り組みの中で、全校生徒9名の大分県佐伯市立本匠中学校の「釜炒り因尾茶」の茶育の取り組みを紹介したい。

活気ある地域づくりへ

大分県南東端に位置する佐伯市は、日本有数のリアス式海岸地帯が広がり、かつて「佐伯の殿様、浦でもつ」と称された程、海の幸が豊富な街だ。また、山間部では全国でも珍しい釜炒り製法の「因尾茶」が400年前からつくり続けられており、その生産量は日本茶全体の約2パーセントという貴重なお茶の歴史を今に繋ぐ。

この「因尾茶」を食育に生かし、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組んでいるのが、全校生徒9名の本匠中学校である。

本匠中学校のある約580世帯（令和7年6月現在）の本匠地域では、平成13年に2つの中学校が統合された。そのときの経験から、「地域の学校を無くしてはならない」という強い共通意志がある。

本匠中学校を支える地域との絆の強さ。学校運営協議会会長の三原信行さんと地域協育コーディネーターの川野敦子さんは、髙野徹校長と常に連携し、子どもたちのための多様な学びと、小規模校だからこそできる豊かな体験を創り出している。

学校運営協議会会長の三原さんは約30アールの学校茶園を管理し、生徒たちを迎え、茶育の技術を指導する。「この本匠地域は因尾茶の生産地で、昔から地域が協働して茶を育ててきました。今では空き家が増えて茶園の放棄地も増えてしまいましたが、子どもたちに茶育を通して、ふるさとの風景や人の繋がりを感じてもらえたら嬉しいです。小さな学校でも、豊かな教育、学びを応援したい」と語る。

地域協育コーディネーターの川野さんは、本匠生まれの本匠育ち。茶育だけでなく、本匠中学校の生徒たちに様々な体験をと、地域の達人と学校を繋ぐ。「子どもたちの変化が大きいことに驚いています。お茶だけをとっても、自ら考え探究し、わたしたち大人が知らなかったことを見つけてくる。お茶の効能も子どもたちから詳しく学びました」。

髙野校長は、実父が本匠生まれ、自身も幼少期から本匠の自然に親しむ。「少子化が進む今、統廃合は必至。全国どこの学校もいつかは小規模校になるでしょう。本匠中学校はその最先端をいくのだという気概をもって、小さくても魅力ある学校を『チーム』で創り上げています。子どもたちが故郷を誇りに思い、世界へ、そして宇宙へ羽ばたく人になってほしい」。

本匠中学校を核とした活気ある地域づくりが、茶育を起点に始まった。

年間を通した総合的な学習の時間の取り組み

「茶育」の取り組みは幅広い。茶園の整備・茶摘み・釜炒り茶作り体験・製茶工場見学・ 製茶販売活動・

茶話会の開催・茶の利用や活用方法の考案・提案、因尾茶の広報、普及活動と、年間を通じた取り組みとなっている。

学校が管理する30アールの茶園で茶摘みを行う

大分県立佐伯豊南高等学校の生徒たちと一緒に

地域住民をはじめ、地元小学校や高校との連携が生まれた。そして茶育は、俳句文化にも及び、山形県山形市立山寺中学校との交流に繋がるなど、本匠地区から全国へ人の輪が広がってきた。

釜炒り茶づくり体験の様子

茶園の指導に入る学校運営協議会会長の三原信行さん

茶育プロジェクトの活動内容

令和4年度から、「茶育プロジェクト」として様々な活動を展開している。

①「因尾茶」について学ぶ授業

年に3回、総合的な学習の時間に茶園へ行き、雑草をとり肥料を撒く。5月の茶摘みと6月の茶話会は地域の人たちと共に。総合的な学習の時間以外でも、例えば家庭科では、お茶の新しい魅力を見つけるため茶葉を使った調理実習を行う。400年前から栽培されている貴重な「因尾茶」の歴史を、専門家から聴く授業や美味しいお茶の入れ方教室も行う。

因尾茶の歴史講話と美味しいお茶の入れ方教室を実施

②卒業する3年生へ贈る給食「因尾茶料理」

卒業していく3年生たちのために、3年生が考えた「茶を食べる」オリジナルメニューを1・2年生が作り、給食でサプライズ茶葉料理を振る舞う。

研いだ米の中に茶葉やひじき、ちりめんじゃこを入れた炊き込みご飯と、茶殻を桜エビなどと炒めたふりかけ。事前に乾燥させた茶葉を天ぷら粉の中に混ぜ、そこに切った野菜を入れ、形を整えながら油で揚げていくかき揚げの3種類だった。

卒業を控えた3年生の生徒は、お茶の香りを楽しみ、後輩たちによる手作りのお茶料理を堪能し、ふるさとの味を思い出と共に胸に刻む。

総合的な学習の時間で「茶話会」開催

恒例行事の「茶話会」は、新茶がつくられた後に地域の人たちを招いて催す総合的な学習の時間だ。令和6年度は、佐伯市老人クラブ連合会本匠支部長をはじめとした有志の方々の大正琴で始まり、因尾茶を使ったクッキーが振る舞われた。

地元のカフェ店長と因尾茶を使ったクッキーづくり

新茶を飲みながら俳句教室で交流を深める茶話会

生徒が企画した俳句教室は、地域住民が生徒たちから季語について学び、一緒に俳句づくりをする会で、地域住民と生徒たちの交流の場になっている。

さらに、「釜炒り因尾茶」を利用・活用した茶染めや食茶、入浴剤、お茶アロマを生徒たちが考案し、茶葉を使った掃除用品を開発するなど、生活を豊かにするアイデアづくりにも取り組んでいる。

生徒が試作し完成した茶染めの布

茶育と俳句

本匠中学校では、俳句にも力を入れている。茶育の様々な取り組みや各行事での体験が俳句で表現され、生徒一人ひとりがアウトプットするのだ。隣接の小学校の児童・教職員・保護者・地域住民の他、外国から来ている市内の国際交流員やAPU（立命館アジア太平洋大学）の留学生にも俳句を伝え、一緒に俳句を詠む等の活動が継続されている。

2年前からは山形市立山寺中学校とも俳句づくりで交流を行っている。更に、英語教育にも注力する学校として、英語で俳句を詠む取り組みも進めている。

令和6年度、卒業する3年生が完成させた俳句集（第二弾）

新茶つみ煎った茶葉から香りたつ

2年生の句

俳句づくりは、本匠地域の歴史を紹介した「本匠村史」に「本匠地域では90年前、とても盛んに俳句づくりが行われ、俳句集も作られていた」との記述があったことがきっかけだった。生徒だけでなく、市長・教育長・教員・保護者なども俳句を詠み、本匠中学校の生徒が中心となり一昨年度初めて俳句集を発行した。好評を得て、昨年度には第二弾を発行。茶育と俳句づくりが一体化したこの取り組みは、生徒たちが主体となり今年も積極的に進められている。

山形にある山寺芭蕉記念館にて

小規模特認校として

今年4月3日、本匠中学校は小規模特認校に指定された。地域の学校存続に加え、移住・定住促進にもつなげる目的だ。2026年度開始に向け、年内に入学、転学希望者を募る。この8月～10月、学校説明会・オープンスクールを開き、入学・転学希望者の募集は11月から行うことになっている。少人数だからこそできる特色ある教育活動を生かし、地域と連携した豊富な体験学習、探究活動によって子どもたち一人ひとりの成長を促す。

茶育に加え、清流「番匠川」での鮎のちょんがけ、カヌー、蕎麦打ち、山形県との交流、ネイティブによる英語教育等、子どもたちが夢中になれる体験活動を本匠中学校は創り続けてきた。少子化が進む日本の学校の在り方について考えさせられる、全校生徒9名・教職員11名の、大家族のような学校を起点とするふるさとづくりである。

髙野校長は熱く語る。「この生徒数が少なくなってしまった学校を、世界一充実している学校にします。今でも体験の豊富さは日本一だと自負していますし、地域の人たちは知恵と力を学校教育に寄せることを厭いません。因尾茶も俳句も、この地域の誇りです。学校は地域の希望なのです。全国から体験豊かなこの本匠中学校に来てくれる子どもは、心身ともに豊かに成長してくれることでしょう。本匠地域の“ひと”“もの”“こと”に支えられている校長として胸を張り伝えていきます」。教育を守ろうとする熱い大人たちの連携が、この本匠での学びを創り続けている。

本匠中学校の髙野徹校長

取材後記

都会のど真ん中で、都市型農業と校内自給自足を追求し続ける原宿外苑中学校。そして中山間地域から「因尾茶」の茶育を通して、伝統文化とふるさと教育を発展させている本匠中学校。この2校を取材させていただいた。

「食育」とは、単なる教育カテゴリーではなく、学校を起点に、家庭や地域の方々、企業、行政等と食を通じて繋がり、新しい学びを生み出すことができるもの。そしてクリエイティブな学びであることも、両校の取材を通して発見したように思う。

食べることは、生きる上の根本である。教育が国の根幹を支えると同じように、教育現場での「食育」が、子どもたちの健やかな心身を育成すると共に、魅力ある学校づくりと学びづくりに繋がり、発展していくことを願ってやまない。

令和8年度 「日教弘本部奨励金」募集要項

日教弘本部奨励金は、教育の向上発展に重要であり、
特色ある研究や継続的な活動に対して奨励し助成を行う事業です。

■助成要件

(1)助成の趣旨

次年度(令和8年度)に行う全国規模の有益な研究・活動等に助成し、初等中等教育及び幼児教育の向上発展に寄与する。

(2)助成の対象にならないもの

①営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
②他の機関からの委託によるもの
③特定地域に特化しているもの
④既に終了しているもの
⑤他団体からの助成金等の合計額が500万円以上のもの
⑥海外で行うもの
⑦生成AIを使用して申請書を作成したもの

(3)募集対象

国公私立大学院、大学、短期大学、高等専門学校等の教育機関に所属している教職員、大学院生とします。
①幼児・児童・生徒の教育の向上発展に寄与する研究・活動であれば、学部等は問いません。
②応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。ただし、所属組織が助成金の管理を行うことが出来る方に限ります。
③一定期間日教弘本部奨励金の助成を受けていない方に限ります。一度助成を受けている場合は、研究完了年度の翌々年度以降から応募することが可能です。
④日教弘本部奨励金と日教弘支部奨励金に重複申請はできません。
⑤原則として、令和8年度(2026年4月1日から2027年3月31日)1年間で完了する研究・活動等に限ります。

(4)募集期間

令和7年5月15日(木)～令和7年9月16日(火)

■助成金額

1件あたり100万円以内とします。
ただし、以下に記載した費用は対象外とします。
①応募する研究者本人及び共同者、または所属組織内部に環流する人件費・謝金。
②汎用性のある機器(例:パソコン、OAソフト<Word、Excel、SPSSなど汎用性のある統計処理ソフト等>、コピー機、タブレット端末、ドローン、GoPro、ICレコーダー)等の購入費
③組織等の一般管理費(例:公共料金の支払い)等
④懇親会等の飲食費
⑤海外旅費(ただし、国内旅費は申請額の30%まで申請可能です)
⑥所属大学等に支払う申請額の20%をこえたオーバーヘッド(間接経費)
⑦その他研究に直接関係がない講習会費、物品等
※研究・活動に必要な講師等に対する「謝金」及びデータ入力・翻訳作業等に係る「役務費」は合計で申請額の60%以内とします。ただし、社会保険料等は除く。
※申請額から減額して助成を行う場合、助成金額に応じて費目の調整を行うことがあります。
※助成後、対象外費用を使用した場合や、提出書類(申請書や助成後に提出する成果報告書等)に不備・不正等があった場合は、返金して頂くことがあります。
※申請時に記載され、承認された物品以外を購入する場合、事前に当会の承認を受ける必要があります。必ず事前にご相談ください。

■応募方法等の詳細については、当会ホームページをご確認ください。

お問い合わせ先

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 教弘会館内
日教弘本部奨励金事業係
TEL:03-3354-4001
E-mail:ko-eki@nikkyoko.or.jp
URL:https://www.nikkyoko.or.jp/

心に残る

笑顔いっぱい　やさしさいっぱい　夢いっぱい

堀江　均
千葉県立安房特別支援学校 校長

中学校の数学教師からスタートした教員人生、その後養護学校、教育行政、高等学校、特別支援学校と様々な勤務経験をさせていただきながら、たくさんの子どもたちに出会うことができ、今年42年目を迎えました。

その中でも現任校の千葉県立安房特別支援学校は養護学校の時代から数えると自身20年目となりました。最初は50名ほどの児童生徒数が今では170名超と、3倍以上の規模となっています。

現在、千葉県には37校の県立特別支援学校があります。本校の特色としては校舎が3つあることです。館山市にある中里本校（小中高）、同じく館山市にある館山聾分校（幼高）、鴨川市の鴨川小学校内にある鴨川分教室（小中）の3校舎です。

校舎間が40kmとかなり離れているため、幼児・児童・生徒をつなぎあわせる合言葉があります。それがタイトルになっている『笑顔いっぱい　やさしさいっぱい　夢いっぱい』です。これを教育目標に掲げて、子どもたち、保護者の方、教職員で共有し、無限の可能性を最大限に引き出せるよう、日々実践しています。

また、学校にはキャラクターとして「あわニャン」がいます。児童生徒会で企画募集し、高等部生徒の作品が選ばれ、誕生しました。自分たちで作り上げたこともあり、子どもたちにとても人気で、いろいろな場面に登場します。この「あわニャン」も3つの校舎を結びつける大事なかけはしになっています。

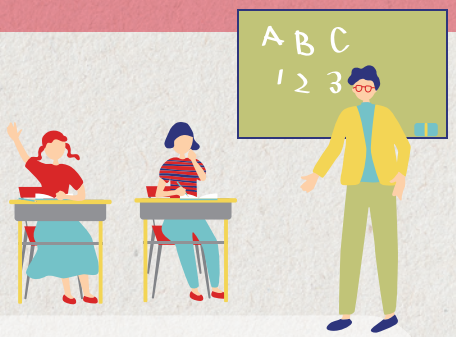
人生百年時代、学校を出てからが長い生活に向けて必要となる「生きた力」をつけるために、子ども本人、家族、関係者の方と共に考え、成長を笑顔で喜びあった日々は、私にとって心に残る大切な宝物です。

先日のことですが、千葉県の知事選挙がありました。投票会場に行くと卒業生に偶然会いました。「先生、選挙に来ました。生まれて初めてです。」と、ニコニコ顔で伝えてくれました。何だかうれしい出来事でした。

特別支援教育では「自立と社会参加」をめざします。形は人それぞれ異なります。卒業しても社会とかかわりながら、笑顔がいっぱい輝く毎日を過ごし、一人一人の夢を実現していけたらと思います。出会ってくれたすべての子どもたちみんなに、ありがとうの気持ちをおくりたいと思います。

学校のキャラクター「あわニャン」と

子どもたち



子どもをつなぐ

佐々木　加奈子
広島県安芸高田市立甲田小学校 教諭

子ども達は子ども達の中で育つ。それを実感したのはある6年生を担任した時だった。当時トラブルも多く、決して関係が良いとはいえないクラスだった。

間もなく運動会の取組が始まった。そこで、団長に意外な児童が立候補した。その子は親しい友達もなく活動に対して否定的な態度をとることが多かったため、私も他の児童も驚いた。練習中も声がなかなか出ず、全体を仕切ることも難しい。そんな日が何日か続く。ある時、「ダンスリーダーを作ってダンスは任せたら」と提案する子や、声出し練習に付き合う子が出てきた。不器用ながら必死に取り組む団長を見て、できることを考え始めた周りの児童。次第に団結していくそのチームを見て奮い立つ相手チーム。お互い苦労しながらひたむきに練習した。本番前日、団長にお礼を言うサプライズを仕掛ける児童も出てきた。団長は「ありがとう！」と目を潤ませた。

その後、様々な活動の中で友達の頑張りや良さを自然に言葉で表現する児童が出てきた。一学期の終わりには、「みんなで喜び合う時間がとっても楽しくて大切に思えた」と伝える児童の姿もあった。読書祭りや被災地への募金活動、地域の清掃などを次々と提案し実行した。

その中心的な児童が、冬休み前に怪我で長期入院を余儀なくされ、卒業式の出席も危ぶまれた。すると周りの児童が動き始めた。毎日の出来事や授業内容などを日直が記録し、病院に持って行った。それを見て、入院していた児童も必死にリハビリをしたという。退院した時は、みんな大喜びだった。その時のことをクラスの児童がノートに書いていた。

> 絆ってどんなものだと思いますか？ 私は今までよく分かりませんでした。でも六年生になって分かりました。それはある出来事からです。
>
> けがをした人がいました。そのけがはすぐには治りませんでした。その人はきっと心細かったと思います。みんなが自分を置いていくんじゃないかって。
>
> でもみんなは一人にしたり置いて行ったりしませんでした。お見舞に行ったり一日の出来事を伝えたりメッセージを送ったり。「一人じゃないよ、みんな仲間だよ、みんな待ってるよ」って伝えました。それを見てその人は、けがが治るように必死で頑張りました。そしてまたそれを見たみんなが勇気をもらい、その人のために必死で頑張りました。
>
> 一人の人に勇気を与え、一人の人のために頑張るみんながいる。私はそんなみんなの中に光るつながりが見えました。それって、輝く絆だと思いませんか？

子ども達は子ども達の関係の中で育っていく。それから私は「子ども達をつなぐ」という学級経営を目指すようになった。毎日反省ばかりではあるが、この子達が見せてくれた姿はいつも心に大事に留めている。

最終回

「健康と食事」
～漢方の視点から～

岩井　正憲　薬学博士

祖父の代から続く漢方専門調剤薬局の三代目として大阪市に生まれる。
1992年富山医科薬科大学（現富山大学）大学院博士課程修了。薬学博士。大学時代より、中国・韓国・ネパール・インドなどで薬物の現地調査に従事。
現在はTV・新聞・雑誌などで漢方薬の解説やコメンテーターとしても活躍。2001年から続く東京・大阪のホテルニューオータニの薬膳料理「好菜（ハオツァイ）」の総合プロデューサーをはじめ、数多くのホテルで「健康と食事」を指導。
2003年にはニューヨークで日本人として初めての薬膳セミナーをプロデュースし成功をおさめる。著書に『21世紀の生薬・漢方製剤』（共著）がある。
国際個別化医療学会評議員、日本東洋医学会代議員兼関西支部副支部長。

早いもので今回が最後のお話となりました。皆様にはこれまで中国最古の医方書「黄帝内経」や最古の薬物書「神農本草経」を紐解きながら「気・血・水」や「陰陽五行説」など「漢方」の視点から「健康と食事」についてお話しさせていただきました。少しでも日頃の健康づくりのお役に立つことができましたなら幸いです。

「健康長寿」をめざして

厚生労働省によると2023年の日本人の「平均寿命」は女性が87.14歳、男性が81.09歳とありますが「平均寿命」はあくまでも戸籍年齢で、元気で活躍できる「健康寿命」とは異なります。いかにして寿命まで元気で健やかに生活することができるのかが大切な問題です。

ライフスタイルと健康に関する研究について、カリフォルニア大学のブレスロー教授が作成した「ブレスローの7つの健康習慣」が有名です。今でもアメリカの国民健康調査の指標に採用される内容となっていますのでご紹介いたします。

ブレスローの7つの健康習慣

1. **適正な睡眠時間**（7～8時間）
2. **喫煙をしない**
3. **適正体重を維持する**
   （適正体重＝身長（m）×身長（m）×22）
4. **飲酒は適量を守るか、まったく飲まない**
5. **定期的に運動する**
   （30分以上の運動を週2日以上が理想的）
6. **毎日朝食を食べる**
7. **不必要な間食をしない**

例えば、❶～❼項目のうち、2つ程度しか当てはまらない人と、7つ全てが当てはまる人との健康偏差値を比べた場合、30歳以上の年齢差が生じるとの報告があるほどです。是非、健康習慣をチェックし日頃の生活に役立ててみてはいかがでしょう。

「熱中症」と「夏バテ予防」

地球温暖化とはいえ、日本の夏は湿度が高く、とても暑い日が長く続くようになりました。例年、屋内外を問わず「熱中症」で病院へ運ばれる様子が報道されています。

注意すべきは高齢の方だけでなく、寝不足や栄養不足、過度な肉体疲労により体温調節機能が低下し、熱を体外に放出できず身体に熱がこもり危険な状態になることです。まずは「熱中症対策」として室温と外気温との温度差には注意し、十分な睡眠をとり、食事を通じて適度な栄養補給と水分補給を意識することが大切です。

ただし暑いからといって冷たいものばかりを摂り過ぎると腸内が冷え、代謝機能が低下し夏バテの原因となります。免疫細胞の約70%を占める腸に負担がかかると免疫力が低下し、思わぬ夏風邪に罹患することがあります。

薬膳には暑い夏の時季こそ温かいものを食する考え方があります。鍋料理を冬だけではなく夏の時季に食べてみるのはいかがでしょうか。胃腸の負担を軽減し暑い夏を乗り切るための秘策の1つです。

また、夏バテ予防の食べ物としてビタミンB群は欠かせません。エネルギー代謝に必要な補酵素として疲労回復やストレス軽減に役立ちます。夏の土用のウナギが有名ですが、豚肉や赤身の魚、貝類などにも豊富に含まれています。

もし夏の暑い時季に食欲低下を感じることがあれば、胃腸の働きを整えるスパイスが豊富なカレー料理が最適です。カレーはまさに薬膳であり、溶け込んでいるスパイスが胃腸に刺激を与え食欲増進に役立ちますが、刺激が強すぎるとかえって胃腸に負担がかかる方もおられますので注意が必要です。

1年を通じて元気な方の胃腸はとても丈夫です。健康維持には胃腸の働きが重要なバロメーターですので、暴飲暴食をせず大切にいたわっていただきたいものです。

自然の大切さ

さて最後は、私の体験記の中から自然の大切さを感じたお話をさせていただきます。大学院時代、漢方薬の原料となる「生薬（しょうやく）」の調査のため中国各地の現地調査に同行していました。これは中国の最西部「新疆（しんきょう）ウイグル自治区」でのお話です。

灼熱の暑さの砂漠地帯が広がり、長く連なる天山（てんざん）山脈の中でも赤土色の「火焔山（かえんざん）」は孫悟空の「西遊記」で紹介された灼熱の丘陵として有名です。ウイグル自治区での調査はまさに暑さとの戦いでしたが、その暑さから身体を守ってくれたのがある1つの食物でした。

それはこの地が発祥とされる「西瓜（すいか）」でした。日本で食していたスイカのように大きくはなく小さな蹴鞠（けまり）程度の大きさでしたが、割ってみると中は真っ赤で種もかなり多いものでした。取れたての生温かい西瓜でしたが、1口食べて衝撃を受けました。あれほど身体が火照っていたのがウソのように一瞬にして冷めていくのを感じたからです。「西瓜」の食性は「寒（かん）」。この時の衝撃が「薬食同源（やくしょくどうげん）」を体感した瞬間でした。

自然の中で生かされて

もう1つは、自然の中で生かされているというエピソードとして、中国の西南部「チベット自治区」でのお

話です。

現地の薬物調査に「アムチ」と呼ばれるチベット医と同行したのですが、チベット仏教の聖地である古都ラサは標高約3,700mとほぼ富士山の頂上と変わらない高地に位置し、チベット自治区の人々は日本の国土面積の約6倍、平均標高4,000mのチベット高原で生活しています。

到着早々、軽い酸欠状態の高山病にかかりながら移動する車窓から子供たちが元気にバスケットボールに興じている光景を目の当たりにした時に、人間の持つ順応能力の素晴らしさを感じたものです。

高山地帯であるがゆえに飲料はとくに貴重で、チベットでは日本のように水を必要とする粉薬ではなく、水なしで服用できる丸薬がほとんどです。もちろん丸薬はチベット医学の考えをもとに薬草で調剤された貴重な薬物です。

この時、隊員の1人が体調を崩しチベット医である「アムチ」に丸薬を調合してもらいましたが、1日分しか処方してくれません。「貴重な丸薬だから1日分だけなのか」と尋ねると「それは違う。今日の体調と明日とは違う。治っていなければまた明日診察して処方する」という。なるほどと思いながらもさらに驚いたのが、1日分（朝・昼・晩）の薬の種類が全て違っていたことです。「どうしてか？」と尋ねると「人間の身体は朝・昼・晩と違うのは当たり前。太陽も昇れば必ず沈む。人間のバイオリズムも太陽の動きと同じだ」と。チベット医学が「医学・薬学・天文学」の3つの考え方で成り立つことを教えられたのです。

人は自然の中で生かされている。まったくその通りだと痛感し、日本の医療がかかえる不必要な投薬問題の解決策の本質まで教えられたことを覚えています。

人生飛行機論

海外での薬草の現地調査に出かけていると、「人間は自然の中で生かされている」と実感することが多くあります。自然に対して抗わず寄り添っていくことが健康維持につながるのだと海外の現地調査を通じて知る機会にも恵まれました。

これは医療とは関係ないのですが、ヒマラヤの薬草調査でネパールに同行し標高4,000m程度の場所でキャンプをした時のお話です。目の前に標高8,000m級のヒマラヤ山脈が延々と連なる壮大な自然の光景を1人眺めていると、隊員の1人が「このヒマラヤの雪山をすべて金に換えて1人の人間に与えてもその人間の欲望を満たすことなどできないものだ」と、お釈迦様の説教を話されたのです。

それが真実かどうかはわかりませんが、まさに的を射た人間の本質だと感じました。まさか薬草調査で人生訓まで習うことになるとは思いませんでしたが、東洋医学とくに「漢方」は不老不死を目的とする医学ではなく、「人間には寿命がありいかにして苦しまずに一生を終えるか」の目的に沿って伝承されてきた医学です。

生まれながらに大型ジェット機のような大きなエンジンで長距離を飛ぶことができる人もいれば、セスナ機のようにエンジンは小さいがアクロバット飛行ができる人もいるでしょう。飛び方は機種により様々ですが、どちらも目的地まで不時着せずに到達することができるかが最終の目的です。

人生も同じく、不時着せずにいかにソフトランディングするかに知恵を使い心身ともに充実した身体づくりを心がけてもらえれば嬉しいかぎりです。

医療従事者として日頃から病で悩まれる方々に接していますが、誰もが病気や怪我で苦しまないで人生を終えたいと思うのは当たり前のことです。しかし予期せず病気になったとしてもご自身が「納得」した治療を受けていただきたい。患者に寄り添う医療従事者の1人として最後に皆様に思い願うことです。長きに亘りお付き合いいただき有難うございました。

工房での様子。山ブドウかごバッグを製作中

My Second Life vol.22

定年後に修業、伝統工芸士に 生涯現役への道

青木 基重（もとしげ） さん 〈87歳〉

冬は2mもの雪で覆われる福島県奥会津三島町。昔から農閑期は家々で囲炉裏を囲み、ワラジや蓑をはじめとした道具や衣類、荷縄やカゴなどを作り暮らしを営んできた。「山ブドウ細工」「ヒロロ細工」「マタタビ細工」は平成15年に国の伝統的工芸品に指定され、昭和61年から続く「ふるさと会津工人（こうじん）まつり」は、全国の職人たちが集結するイベントとして多くのものづくりファンを集めている。

この町で生まれ育った青木基重さんは、幼い頃から母親の蓑づくりを見て育った。早くに父を結核で亡くし、一家を支えるために大学の通信課程で教職免許をとり、小学校の教員に。豪雪地帯の小学校は、冬の間は雪で登校できなくなるため、町内に「季節分校」がつくられる。青木さんはこの分校で採用となり、33年務めて校長で定年を迎え、その後子どもの頃から好きだったものづくりの職人を目指した。

手先は器用だったから独学でいけると思っていたら、そうはいかなかった。山ブドウのかご作りもヒロロの蓑づくりも納得がいくには程遠い。独学の限界を感じた青木さんは、教えを乞うために伝統工芸士である先輩の門を叩き、12年間ひたすら研鑽を積んだ。そして72歳で伝統工芸士の国家試験を受け合格。今は作品を作りつつ後進の指導にあたる。

山ブドウの皮は森林管理事務所の入山許可を得た山で採取したものを使った。足を悪くした今は仲間から調達するようになったが、数年前までは仲間20人ほどで山に入り、樹齢50年以上のカラ松や杉の近くに伸びている葡萄の木から蔓を切り、軟らかくなるまで水に浸けて天日で乾かし、幅3cmほどに割いていた。

現在、大雨蓑（おおあまみの）(昔からある雨具の一種)を作ることのできる職人は三島町で青木さん一人になったが、町に移り住んでものづくりをしたいという若者が少しずつ増えてきた。ふるさと納税の返礼品としても、三島町の手仕事の工芸品は人気だ。

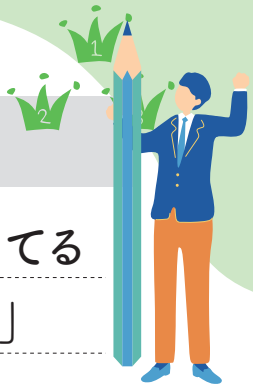
「この8月で88歳になるけれど、あっという間だったな。6年ほど前に妻を看取り今は一人暮らし。畑も田んぼもあるから忙しいし、時間が少しでもあるときは工房に座っています。満足できる作品がなかなかできず、これからも精進は続くでしょう。人生はやりたいことをやったほうがいい。やりたいことが見つからないときは、焦らずにじっとしていればいい。そのうち見えてくる。人間は傲慢になっちゃだめだ。草や花、木や森の声を聴かねばならね」。やわらかな会津言葉で語ってくれた。

定年後に手仕事の職人を目指し、87歳の今も現役で作品を生み出す青木さん。代表作品は、3世代以上使えるといわれる「山ブドウかご」だ。力強く美しい。雪深いふるさとの自然と人の手から生まれた、伝統工芸品である。

今では青木さんだけがつくることができる「ヒロロ（和名：ミヤマカンスゲ・オクノカンスゲ）」を縄にして編んだ大雨蓑

年間50個ほどつくる山ブドウかごバッグは、「会津木綿」の巾着で目隠しができる工夫が。全て青木さんの手仕事。実用的で美しい

わたしたちの
学校自慢
専門高校シリーズ vol.17



岩手県立種市高等学校

海洋工事のエキスパートを育てる
全国唯一の「海洋開発科」

校内にある潜水実習棟。1.2m、3m、5m、10mの水深をもつ階段式プールに、宇宙飛行士のようなヘルメット姿の生徒が潜っていく。岩手県立種市高等学校海洋開発科3年生の授業の様子だ。このヘルメット式潜水の技法は「南部もぐり」と呼ばれ、今から125年前の1898年（明治31年）、地元の沖合で座礁した船の引きあげ作業で使われた潜水法を、種市の人々が受け継いできた技法である。

「憧れの南部もぐりを習得でき嬉しいです」。そう語るのは、北海道根室市出身の佐藤瑳武（さとうさむ）さんだ。根室市の雲丹漁業の跡継ぎとして、種市高等学校海洋開発科を目指した。「根室では南部もぐりのことを『カップ』と呼んでいますが、潜水法は同じ。高校を卒業したら水産の専門短期大学で2年学び、根室に帰って父親の後を継ぎます」と爽やかに語ってくれた。

地元中学校からだけでなく、北海道から九州、兵庫と全国から生徒が集まるのは、同校海洋開発科が土木・潜水・溶接の技術を学ぶことができる全国唯一の学科だから。海上保安庁に入りたいと入学する女子生徒もいる。個室が完備された学生寮「白鷗寮」では、親代わりの寮長（海洋開発科の濱道秀人（はまみちひでと）教諭）が、時には厳しく時には優しく生徒たちの成長を見守る。生徒たちを導く教諭の多くが、この海洋開発科の卒業生たち。民間企業でキャリアを積んだ後、後進の指導のために学校に戻ってきた強者たちである。

35年間、生徒たちの成長をみてきた濱道教諭は、「海の仕事は命に直結します。この南部もぐりも、ヘルメットに常に空気を送り込む必要があることから、ダイバーとテンダーは信頼関係がなければ成り立たない。どんなことがあっても、テンダーはこのホースを手放しません。約70kgある装備を身に着けるのも、一人では無理。仲間を信じることから海の仕事は始まります」と語る。そしてまた、ダイバー自身の判断力も必要だとも。

「海中では何が起こるか分からない。自ら判断し、鉛を外して浮上することが必要なときがありますし、撤退を決断しなければならないこともあります。自ら判断し行動することができるよう、生徒たちを指導することも教諭の務めです。事故をおこさない。絶対条件です」。

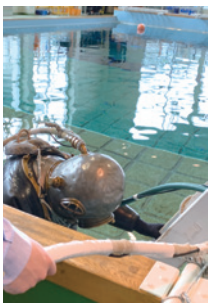
海に囲まれた日本は、潜水士が活躍する場が多い。海洋開発科を卒業した生徒が地元に戻り、ダイバーを組織して起業したケースもある。また、海難事故では欠かせない存在でもあり、東日本大震災のときには全国のダイバーの8割が東北に結集。北海道斜里町での遊覧船沈没事故の際にも卒業生ダイバーが駆けつけた。

宇宙開発より難易度が高いと言われる海洋開発。海洋開発に必ず求められる潜水士。そして潜水法の基本が、「南部もぐり（ヘルメット式潜水法）」にある。南部もぐりを習得後、潜水作業実習船「種市丸」に乗船して大海原での潜水を体験した3年生は、心身ともに逞しい潜水士の顔になる。

優れた人材を世界中に輩出する種市高等学校海洋開発科が、日本の宝といわれる所以だ。

装具の着用は4人がかりで行う

「南部もぐり」を学ぶため海洋開発科に入学した、佐藤瑳武さん


手前のホースを握るのは、「テンダー」と呼ばれるダイバーの相棒。空気を送るホースはダイバーの命綱

海洋開発科3年生と教諭たち

「種市丸」実習風景

海洋開発科教師歴35年の濱道秀人さん。学生寮の寮長も務める「お父さん的存在」だ

学校HP

先生 Supporting Teachers 応援サイト

先生応援サイト

● 先生応援サイトとは？

日頃お世話になっている教職員の方々の悩みや不安を解消したいという想いで作られたサイトです。
日教弘の会員のみが利用できる日教弘クラブオフ内の1サービスとして先生の声を参考に、教職員の方々に役立つコンテンツを、毎月更新でお届けしています。

コンテンツ紹介

今月のなるほど先生！

先生方のインタビュー、生活に関するお役立ち情報など、毎月テーマを変えた特集記事を掲載。

がんばれ、新人先生！

新規採用者向けコンテンツとして、困ったときのシチュエーションをイラストと説明文で見やすく、分かりやすく解説。

今日の数字

毎月異なる「数字」を取り上げ、その数字に関する解説記事を掲載。
先生方の授業や朝礼などで使えるちょっとした豆知識をご提供します。

先生の駆け込み部屋

ジブラルタ生命が開発した小学生～高校生向け金融教育プログラムの教材を、先生応援サイト上でダウンロード後、すぐに活用いただけます。

アクセス方法は簡単3ステップ！

1 日教弘クラブオフへアクセス

PCからアクセス
URL:https://www.club-off.com/nikkyoko/

スマホからアクセス

2 会員証に記載のログインIDとPW(初期は生年月日)でログイン

ログインID
会員証に記載されている「支部コード(2桁)」+「会員番号(8桁)」

初期PW
ご自身の生年月日(半角数字8桁)
※例:2003年4月15日生まれ
→20030415
※初回ログイン時にパスワードを変更いただきます

3 サイト内の「先生応援サイト」のバナーを選択

企画・運営　特定非営利活動法人 東京学芸大こども未来研究所 Tokyo Gakugei Univ. Children Institute for the Future　Gibraltar ジブラルタ生命　国立大学法人 東京学芸大学 Tokyo Gakugei University

先生応援サイトは、ジブラルタ生命、東京学芸大学、東京学芸大こども未来研究所が共同で企画・運営し、ジブラルタ生命が共済事業を引き受けている公益財団法人日本教育公務員弘済会が運営する会員向けサービス「日教弘クラブオフ」を通じて提供しています。

ジブラルタ生命保険株式会社
本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10
通話料無料 0120-37-9419(ミナ キョウイク)・37-2269(ミナ ジブロック)
受付時間:平日9:00～18:00 土曜:9:00～17:00(日・祝・年末年始を除く)
ジブラルタ生命ホームページ https://www.gib-life.co.jp/

国内外20万ヵ所以上のサービスがお得に！

福利厚生サービス「日教弘クラブオフ」

日教弘クラブオフへのログイン方法

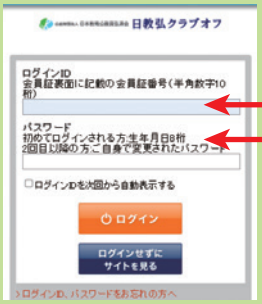
STEP. 1 日教弘クラブオフの専用ホームページへアクセス。

スマホでアクセス

パソコンでアクセス

https://www.club-off.com/nikkyoko/

STEP. 2 ログインIDとパスワードを入力してログイン。



ログインID
会員証に記載されている「支部コード（2桁）」＋「会員番号（8桁）」計10桁の半角数字

初期パスワード
ご自身の生年月日（半角数字8桁）
※例：2003年4月15日生まれ → 20030415
※初回ログイン時にパスワードを変更いただきます。

さらにログイン後に

クラブオフアプリをダウンロードして、もっと便利に！

CLUB OFF

App Store からダウンロード iPhone はこちら

Google Play で手に入れよう Android はこちら

動画でわかる！アプリの使い方

※Apple および Apple ロゴは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

Topic 日教弘クラブオフで使える！スポーツクラブお試し券特集！

汗を流して心身ともにリフレッシュ！ちょっとした気分転換に手軽なお試し券をご活用ください！

スポーツクラブNAS

会員特典 申込No.5090394
●施設利用お試し1回券
都度利用料：1,500円 ➡ 500円

コ・ス・パ

会員特典 申込No.5096642
●お試し券：1,210円 ➡ 500円

コナミスポーツクラブ

会員特典 申込No.5094261
●お試し券：2,310円～3,300円 ➡ 550円
※16歳以上

ティップネス

会員特典 申込No.5086889
●お試しデジタルチケット
都度利用料：1,500円 ➡ 550円
※年度内1回のみ（1回につき2コードまで）購入可能

＼スポーツクラブの特典は、ほかにもたくさん！／

GOLD'S GYM　AXIOS　GUNZE SPORTS　MEGALOS

日教弘クラブオフの専用ホームページTOPページの「カテゴリー一覧」⇒「フィットネス」からご確認ください！

●日教弘クラブオフに関するお問い合わせは
0800-919-6189 まで。通話料無料 営業時間10:00～18:00（年末年始除く）

※掲載内容は2025年7月現在の情報です。予告なく変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※特典をご利用の際は必ず日教弘クラブオフホームページをご確認ください。※画像はすべてイメージです。

※表紙写真：「ふるさとを愛し、たくましく生きる心優しい子供の育成」を目指した太鼓の取組

地域の宝「黒木太鼓」の継承

～ふるさとの活気を作る響きは学校・家庭・地域の和から～

長崎県大村市立黒木（くろぎ）小学校

黒木小学校は20名前後で児童数が推移している極小規模校です。平成15年から市内の校区外から児童を受け入れる「特別転入学制度」を導入し学校の活性化を図っています。

黒木太鼓は平成14年結成以来24年にわたり活動を続けています。全児童で週に1回45分程度の練習を重ねて技術を磨き、地域行事や祭り、福祉施設訪問等で演奏を披露し、地域を元気づけることで、誇り高く伝統を継承してきました。

大村市小学校音楽会では毎年市内の小学生に迫力ある演奏を届けています

福祉施設の夏祭りで入所者の皆様からたくさんの拍手をいただきました

お祭りに集まった地域の皆様に黒木太鼓の演奏を披露しました

地域の指導者、教職員がひとつになり指導にあたっています

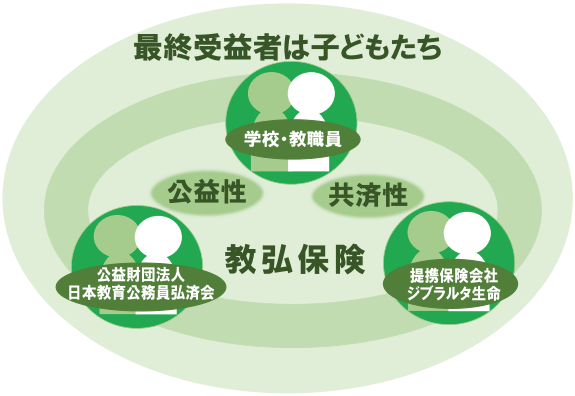
〒856-0012 長崎県大村市黒木町530番地

【アクセス】
- 長崎空港から車で30分
- 大村バスターミナルから直通バスあり「黒木小学校前」バス停下車

【学校HP】
https://www.city.omura.nagasaki.jp/kyoiku/kyoiku/shiritsugakko/sho/kuroki/

日教弘マークについて

公益財団法人 日本教育公務員弘済会＜略称:（公財）日教弘＞は、
都道府県を含む総称を「教弘」としていることから、
アルファベットの「K」がそのイニシャルです。
「K」を中心にした楕円形は、日教弘本部・支部が一致協力して事業推進していることを象徴しています。
全体のイメージは、未来への飛躍を展望したものです。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称：（公財）日教弘>の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会　https://www.nikkyoko.or.jp/

きょうこう vol.52　発行／公益財団法人 日本教育公務員弘済会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 教弘会館2階　TEL 03-3354-4001（代）FAX 03-3354-4068
印刷／共同印刷株式会社